

# 社 会

(歴史的分野)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	歴史 705	A B 308	令和2年
17	教育出版	教 出◆	歴史 706	A B 318	
46	帝国書院	帝 国◆	歴史 707	A B 310	
81	山川出版	山 川◆	歴史 708	A B 296	
116	日本文教出版	日 文◆	歴史 709	A B 336	
227	育鵬社	育鵬社	歴史 710	A B 320	
229	学び舎	学び舎	歴史 711	A 4 308	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

中学部 社会(歴史的分野)(聴覚障害特別支援学校)

	発行者	東書	教出	帝国	山川	日文	育鵬社	学び舎
内容	<b>1 聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について</b> ①実際に経験したり調べたりするなど、聴覚障害を補う学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	☆☆☆☆ 13 ①「日清・日露戦争と近代産業」では、日本と世界との結びつきを考え、意見交換をする活動の際に、ウェブページ法による工夫を示している。(P204-205) ②該当なし	☆☆ 5 ①「冷戦の終結とこれからの日本」では、戦後のできごとについて意見交換をする活動の際に、カードを使用して説明する方法を示している。(P288) ②該当なし	☆☆ 5 ①「社会の変化と幕府の対策」では、赤穂事件について、複数の資料を基に、多面的・多角的に考える方法を示している。(P144-145) ②該当なし	☆ 1 ①「身近な地域を調べよう」では、インターネットで昔の地図を見たり、フィールドワークをしたりする活動を示している。(P8-11) ②該当なし	☆☆ 6 ①「古代国家の展開」では、史跡見学の仕方として、インターネットの活用や撮影及び記録などの方法を示している。(P60) ②該当なし	☆ 3 ①「歴史探検！」では、調べたことを発表する際のコツとして、プレゼンテーション用のソフトの活用を示している。(P18) ②該当なし	☆☆ 6 ①「世界は近代へ」では、手工業と機械化の違いを体験する活動として、綿から糸を紡ぐ活動を示している。(P158-159) ②該当なし
	<b>2 聴覚障害への配慮を要する内容等について</b> ①音声情報を必要とする見学等の活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの。	★★★★★ 5 ①「産業の発達と幕府政治の動き」では、学芸員や解説員に話を聞く活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P142)	★★ 2 ①「身近な地域の歴史」では、聞き取り調査をする活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P14)	★ 1 ①「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では、情報の集め方として、博物館の人に話を聞いたり、質問したりする活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P7)	★ 1 ①「身近な地域を調べよう」では、展示品おつて学芸員に質問をする活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P9)	★★ 2 ①「室町幕府と下克上」では、博物館見学の際にボランティアガイドへ質問をする活動があるため、取り扱う際に配慮が必要である。(P102)	★★ 2 ①「歴史探検！」では、音声による連絡手段としての電話の利用や、音声による記録手段としてボイスレコーダーの利用を示しているため、取り扱う際に配慮が必要である。(P15)	★ 1 ①「百姓と町人の世」では、博物館で学芸員に質問をする活動があるため、取り扱う際に配慮が必要である。(P132)
構成上の工夫	<b>障害の状態に応じた事項、その他</b> ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①「武士の政権の成立」では、保元の乱と平治の乱の対立関係を、色分けした表で説明している。(P67) ②欄外に、枠囲みで主要人物や重要語句の解説を示している。(P210-211など)	①「大帝国の出現と律令国家の形成」では、律令による役所のしくみを、図で示している。(P43) ②欄外に、重要語句の解説を示している。(P23など)	①「欧米諸国における『近代化』」では、アメリカ合衆国の領土の拡大の経緯を、年代ごとに色分けした図で示している。(P154) ②欄外に、重要語句の解説を示している。(P15など)	①「貴族政治と国風文化」では、平安京と現在の京都の町を、図と写真で示している。(P56) ②欄外に、重要語句の解説を示している。(P105など)	①「人類の始まりと文明」では、主な作物の原産地とその広がり、を、図とイラストで示している。(P19) ②各節の冒頭の欄外に、枠囲みで、学習課題を示している。(P120など)	①「日本のあけぼの」と世界の文明」では、縄文時代の人々の暮らしを、写真やイラストで示している。(P29) ②各章の最後に学習のまとめを示している。(P152-153など)	①「日本の古代国家」では、宗教の広がりを、世界地図とともに関連する写真で示している。(P36-37) ②各章の最後にふりがえりが示してある。(P104など)
参考	我が国の位置と領土をめぐる問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし
	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に関心をもちたい資料	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし
	防災や、自然災害等における関係機関の役割等の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	

中学部 社会(歴史的分野)(肢体不自由・病弱特別支援学校)

	発行者	東書	教出	帝国	山川	日文	育鵬社	学び舎
内容	<p><b>1 肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について</b></p> <p>①学校内や学校周辺で、身近に体験できる学習活動が示されているもの。</p> <p>②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。</p>	<p>☆☆☆☆ 8</p> <p>①「日清・日露戦争と近代産業」では、市内のフィールドワークについての活動を示している。(P200)</p> <p>②「第二次世界大戦と日本」では、パラリンピックについての内容を示している。(P243)</p>	<p>☆☆☆☆ 7</p> <p>①「日本の成り立ちと倭の王権」では、身近な地域にある遺跡を訪ねる活動を示している。(P36-37)</p> <p>②「冷戦の終結とこれからの日本」では、パラリンピックについての内容を示している。(P285)</p>	<p>☆ 2</p> <p>①「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では、地域にある遺跡・遺物や行事・風習から歴史を調べる活動を示している。(P6-9)</p> <p>②「世界の多様化と日本の成長」では、東京オリンピック・パラリンピックについての内容を示している。(P270)</p>	<p>☆ 1</p> <p>①「身近な地域を調べよう」では、図書館や博物館を利用して地域の歴史を調べる活動を示している。(P8-11)</p> <p>②該当なし</p>	<p>☆☆☆ 6</p> <p>①「室町幕府と下克上」では、地域の博物館を見学する活動を示している。(P102)</p> <p>②「冷戦下の世界と経済大国化する日本」では、オリンピック・パラリンピックの歴史を示している。(P280-281)</p>	<p>☆☆ 4</p> <p>①「日本」の国の成り立ちでは、住んでいる地域に残る伝承や祭りの由来を調べる活動を示している。(P57)</p> <p>②該当なし</p>	<p>☆☆ 3</p> <p>①「百姓と町人の世」では、地域の博物館を見学する活動を示している。(P132)</p> <p>②該当なし</p>
	<p><b>2 肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について</b></p> <p>①補助用具や補助的手段を活用しても、見学や体験的な活動に困難が想定されるもの。</p>	<p>★★★★ 7</p> <p>①「産業の発達と幕府政治の動き」では、「地域の歴史を調べよう」として、博物館や郷土資料館などを見学する活動を示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P142-143)</p>	<p>★★★★ 7</p> <p>①「結びつく民衆と下克上の社会」では、「身近な地域の歴史を調べよう」として、地域の寺社などを見学する活動を示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P90-91)</p>	<p>★ 1</p> <p>①「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では、地域にある博物館や資料館などを見学する活動を示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P6-9)</p>	<p>★ 1</p> <p>①「身近な地域を調べよう」では、調査する地域のフィールドワークの活動を示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P8-11)</p>	<p>★★★★ 4</p> <p>①「第二次世界大戦と日本」では、戦争遺跡を見学する活動を示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P256-257)</p>	<p>★★ 2</p> <p>①「歴史探検！」では、「地域の歴史を調べてみよう①」として、博物館で展示などを見学する活動を示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P14)</p>	<p>★★ 3</p> <p>①「文明のはじまりと日本列島」では、火おこしに挑戦する活動を示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P34-35)</p>
構成上の工夫	<p><b>障害の状態に応じた事項、その他</b></p> <p>①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。</p> <p>②写真、図表等で視覚的に説明されているもの。</p>	<p>①各単元の最後に、基礎・基本のまとめを質問形式で示している。(P58-59など)</p> <p>②「明治維新」では、新政府の仕組みと正院の政治家たちを図や写真で示している。(P169)</p>	<p>①各単元の最後に、学習のまとめとして、質問形式の年表を示している。(P92-93など)</p> <p>②「幕藩体制の確立と鎖国」では、大名行列の様子やかかった費用等を、イラストやグラフで示している。(P116-117)</p>	<p>①各単元の冒頭に、学習課題を枠囲みで示している。(P100など)</p> <p>②「開国と幕府の終わり」では、幕末の攘夷運動と倒幕運動の経緯を地図上に示している。(P166-167)</p>	<p>①各章の最後に、学んだことのまとめを書き込み式で示している。(P60-61など)</p> <p>②「中世社会の成立」では、兵士・源氏の系図を図で示している。(P65)</p>	<p>①各章の最後に、学んだことのまとめとして、年表や地図などを書き込み式で示している。(P62-63など)</p> <p>②「第一次世界大戦と戦後の世界」では、第一次世界大戦の様子などを、写真で示している。(P224-225)</p>	<p>①各章の最後に、学んだことを振り返ることができるまとめのページがある。(P254-255など)</p> <p>②「中世の日本」では、武士の生活を、絵や写真で示している。(P72-73)</p>	<p>①各章の最後に、学んだことを振り返ることができるまとめのページがある。(P180など)</p> <p>②「世界がつながる時代」では、ヨーロッパ人が開拓した新航路を地図で示している。(P89)</p>
参考	我が国の位置と領土をめぐる問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし
	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に関心をもたせる資料	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし
	防災や、自然災害等における関係機関の役割等の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり

